

解析学 II 演習．問題 6 解答例

注意 以下はあくまで解答例で，解答は一つとは限らない．誤植も含め，解答に誤りがあるかもしれないので，各自で検証すること．コメント，質問は大歓迎です．

問題 6.1. (1) $|5x| < 1$ なら， $\sum_{n=0}^{\infty} 5^n x^n = \sum_{n=0}^{\infty} (5x)^n = \frac{1}{1-5x}$ となる．収束半径は $\frac{1}{5}$ ．

(2) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(n+1)^5}{n^5} = 1$ だから，ダランベールの判定法より収束半径は 1 である．

(3) $2^n x^{3n} = (2x^3)^n$ と変形すると，等比級数の和の公式より $|2x^3| < 1$ であれば無限級数は $\frac{1}{1-(\sqrt[3]{2}x)^3}$ に収束する．収束半径は $\frac{1}{\sqrt[3]{2}}$ ．

(4) $\lim_{n \rightarrow \infty} \sqrt[n]{\frac{1}{2n^2}} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{2n} = 0$ だから，コーシーの判定法より収束半径は ∞ である．

(5) $\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(3(n+1))!}{((n+1)!)^3} \left(\frac{(3n)!}{(n!)^3} \right)^{-1} = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{(3n+3)(3n+2)(3n+1)}{(n+1)^3} = 27$ だから，ダランベールの判定法より収束半径は $\frac{1}{27}$ である．

(6) $\lim_{n \rightarrow \infty} \left| \frac{(-1)^{n+1}}{(2(n+1))!} \left(\frac{(-1)^n}{(2n)!} \right)^{-1} \right| = \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{(2n+2)(2n+1)} = 0$ だから，ダランベールの判定法より収束半径は ∞ である．

問題 6.2. (1) 収束半径は 1 である．

(2) $|x| < 1$ ならば，べき級数展開が一様収束するので

$$\int_0^x \sum_{n=0}^{\infty} (-t^2)^n dt = \sum_{n=0}^{\infty} \int_0^x (-t^2)^n dt = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n}{2n+1} x^{2n+1}.$$

(3) $\int_0^x \frac{1}{1+t^2} dt = \arctan x$ ．

(4) (2), (3) より $\arctan x = \sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n}{2n+1} x^{2n+1}$ を得る．両辺とも， $x \rightarrow 1$ のとき収束するので，

$$\sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^n}{2n+1} = \frac{\pi}{4}$$

である．注意．交代級数の収束に関しては講義で述べた．

問題 6.3. (1) 2 (2) 2 (3) 部分積分より 1．

問題 6.4. (1) $a \neq 1$ のとき， $\int_{\delta}^1 x^{-a} dx = \left[\frac{1}{1-a} x^{1-a} \right]_{x=\delta}^1 = \frac{1}{1-a} (1 - \delta^{1-a})$ ．

$a = 1$ のとき， $\int_{\delta}^1 \frac{1}{x} dx = \left[\log x \right]_{x=\delta}^1 = -\log \delta$ ．

(2) $a = 1$ のときは発散する． $a \neq 1$ のとき， δ^{1-a} が $\delta \rightarrow 0$ のとき収束するのは $1-a > 0$ ，つまり $a < 1$ のときで極限值は $\frac{1}{1-a}$ ．

問題 6.5. (1) $a \neq 1$ のとき, $\int_1^b x^{-a} dx = \left[\frac{1}{1-a} x^{1-a} \right]_{x=1}^b = \frac{1}{1-a} (b^{1-a} - 1)$.

$a = 1$ のとき, $\int_1^b \frac{1}{x} dx = \left[\log x \right]_{x=1}^b = \log b$.

(2) $a = 1$ のときは発散する. $a \neq 1$ のとき, b^{1-a} が $b \rightarrow \infty$ のとき収束するのは $1-a < 0$, つまり $a > 1$ のときで極限值は $\frac{-1}{1-a} = \frac{1}{a-1}$.

問題 6.6. (1) $\log x = t$ において置換積分をすると, $\frac{dx}{x} = dt$ より

$$\int_e^\infty \frac{1}{x(\log x)^a} dx = \int_1^\infty \frac{1}{t^a} dt$$

となる. 問題 6.5(2) よりこの広義積分は $a > 1$ のとき収束する.

(2) $x \geq 1$ のとき $\frac{1}{\sqrt{x}+1} \geq \frac{1}{2\sqrt{x}}$ が成り立つ. 問題 6.5(2) よりこの広義積分 $\int_1^\infty \frac{1}{2\sqrt{x}} dx$ は発散するので, (2) の広義積分も発散する.

(3) $x \geq 2$ に対して $\frac{1}{x^{3/2}-1} \leq \frac{2}{x^{3/2}}$ が成り立つ. 問題 6.5(2) より $\int_2^\infty \frac{2}{x^{3/2}} dx$ は収束するので, $\int_2^\infty \frac{1}{x^{3/2}-1} dx$ は収束する.